

ETFは世界中で6,014銘柄以上が上場され、機関投資家・個人投資家の双方に活用されており、その規模は3.4兆ドル（約343兆円）を超えています。

ETFは株式市場で株式のように取引される一方で、上場「投資信託」であり、投資信託としての資金の出入りが日々発生**しています。世界中で様々な投資家が利用しているETFの資金流入は、世界の投資家の動向を探る上でも有用な情報になると考えられます。

当レポートでは、世界のETFの資金流入の状況をまとめ、それらから見えてくる世界の投資家動向についてご紹介していきます。

*ETF(Exchange Traded Fund)のほか、ETN(Exchange Traded Note)、ETC(Exchange Traded Commodity)、ETI(Exchange Traded Instrument)等の上場金融商品を含みます。

**ETF独自の「設定／交換」と呼ばれる現物バスケットと受益権の受け渡しによりETFへの資金流入が発生します。（すべてのETFが現物での設定／交換を行うわけではありません）

2016年9月のETF資金流入

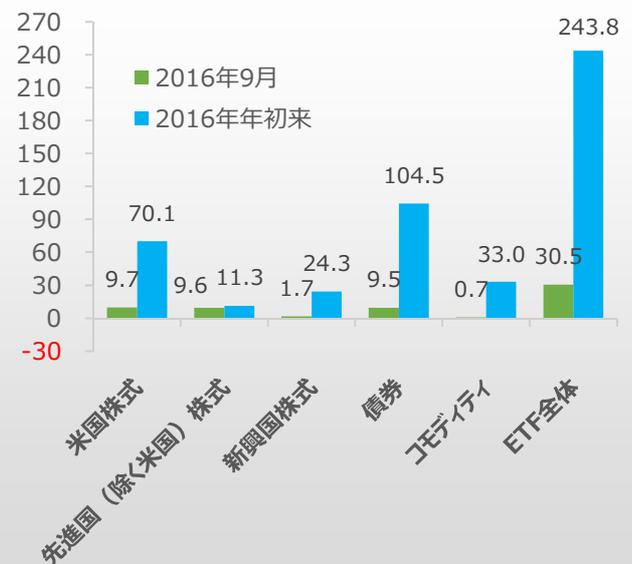
2016年9月は305億ドルの資金流入となりました。その内半分以上の資金流入は、9月21日の米国連邦準備制度(FED)および日銀の政策発表を受けた後の流入となりました。資金を集めたカテゴリーは米国株式、日本株式、新興国株式および債券、そして投資適格社債となりました。

米国株ETFは経済指標の改善およびFEDが政策金利を据え置きしたことにより、97億ドルの資金流入となりました。その内高配当株ETFは13億ドル、優先株ETFは4億ドルの資金流入となりました。日本株ETFは日銀の新政策の発表を受け、93億ドルの流入となりました。

新興国株式全体を対象とするETFは27億ドルの資金流入となり、4ヶ月連続の流入となりました。（次項参照）

債券カテゴリーでは、9月単月で95億ドルの資金流入となりましたが、比較的利回りの高いカテゴリーへの流入が目立ちました。新興国債券は18億ドルの流入となり、年初来の資金流入は過去最も資金流入の多かった2012年の83億ドルの資金流入記録を上回り、145億ドルを記録しました。投資適格社債ETFは34億ドルの流入、年初来では326億ドルの流入となっております。

【世界のETFの資金流入（十億ドル）】

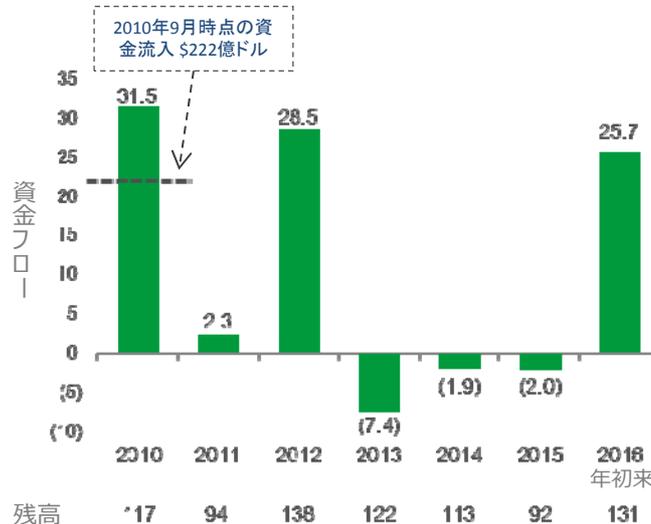


出所：「BlackRock Global ETP Landscape September 2016」

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。

ETFから見る世界の投資家動向

【新興国株式全域型ETFへの資金流入（単位：10億ドル）】



出所：「BlackRock Global ETP Landscape September 2016」

新興国株式全体を対象とするETFへの年初来の資金流入は、過去に最も大きな資金流入を記録した2010年を上回るペースとなっており、9月末時点で257億ドルの資金流入となっております。一方パフォーマンスに関しては、当該ETFの主要指数であるMSCI Emerging Markets Indexは年初来で13.8%上昇しております。以下に、新興国の株式市場の最近の動向としてブラックロックが注目しているポイントをまとめました。

- 1) 米国の段階的な利上げは、過去のドル高により痛手を負った新興国諸国の通貨の安定化に寄与
- 2) 米国の遅い利上げペースは原油やその他のコモディティ価格の安定化に寄与しており、コモディティ輸出国には追い風
- 3) 各種投資指標を比べると新興国の株式市場は、先進国と比較して相対的に割安
- 4) 改革を進めるインドおよびASEAN諸国の経済改革に対するモメンタム

※新興国市場への投資を検討される際は、先進国市場と比べ政治的不安定等により株価変動がより大きく投資リスクが高くなる点にご留意ください。

ETFの主な投資リスクについて

ETFは投資元本および投資元本からの収益の確保が保証されているものではありません。連動を目標とする指数、組入れ有価証券の価格変動、金利及び外国為替の変動等の要因によりETFの価格は変動することから、投資者は損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

ETFの価格が変動する要因や変動の大きさは、各商品及び各商品が連動を目標とする指数等により異なります。優先株は金利上昇等により価値が減少する場合があります。また配当の支払いは保証されていません。満期到来、償還、繰上げ償還、転換などによってファンドの利回りの低下を招く場合があります。特定の地域や分野に特化した投資では、一般に変動が大きくなります。不動産投資信託（REIT）への投資は経済状況の変化や信用リスク、金利変動の影響を受けます。

手数料、費用等について

【売買時の手数料】 当ETFを売買する際の手数は取扱金融商品取引業者（証券会社）等によって定められます。詳しくは取扱会社までお問い合わせください。【保有時の費用】 当ETFの保有期間中は運用管理費用等を間接的にご負担いただきます。保有時の費用の率（総経費率）は個別のETF/JDR毎によって異なり、また運用状況や保有期間等に応じて異なることからその上限額を示すことはできません。詳細は取扱金融商品取引業者（証券会社）にてご確認ください。またiSharesのウェブサイト（<http://www.blackrock.com/jp/ishares>）にて当ETFに関する情報を開示しております。

iShares®
by BLACKROCK®

ブラックロック・ジャパン株式会社

iシェアーズ事業部 TEL 03-6703-4110（部代表） www.blackrock.com/jp/ishares
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第375号
加入協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会、日本証券業協会

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。